

HOT

コミュニケーション

お菓子を配って安全運転願う



当別町交通安全協会主催のセーフティーコールがライオンズクラブ・ロータリークラブなど総勢144人が参加し、国道275号で実施されました。当別高校との連携で、家政科の生徒が作ったマドレーヌ100個を生徒自ら配りながら、運転手や同乗者に安全運転を呼びかけました。

(9月21日)

皇居への献上米が立派に育ちました



5月の末日に「御田植祭」を行った東裏の稲村英樹さんのほ場で、献上米の収穫である「ぬいぼさい拔穂祭」が、JA北いしかり・土地改良区など関係者多数が出席する中で行われました。「ぬいぼめ拔穂祭」は昔ながらの衣装を身にまとったぬいぼめ拔穂女により、稲の「刈取り」と「はさかけ」が行われました。稲村さんは「台風が心配でしたが、無事に育ってくれて、安心しました」と話していました。お米は10月27日に稲村さん自ら皇居に献納し、11月23日の「にいぬめさい新嘗祭」に用いられます。

(9月24日)

フィールデイズ秋空に賑わう



金沢のファームエイジ㈱を会場として開催するフィールデイズ・イン・ジャパンは今回で13回目となりました。フィールデイズとはニュージーランドで毎年行われている国民的農業祭で、農業や環境について身近に感じて欲しいということを目的として開催されています。名物となった長靴飛ばしオリンピックや羊の毛刈りショーなどイベント体験メニューのほか、ヴァイオリニスト大平まゆみさんなどのアーティストによる青空コンサートも開催され、来場者を楽しませていました。

(9月25日)

広告

広告

広告

広告

園児の稲刈り高校生が指導



北海道当別高校の園芸デザイン科では、認定こども園当別夢の国幼稚園と花川南認定こども園を招き、稲刈り体験を行いました。園児たちは春に自分が植えた稲が、立派に成長したのを見て笑顔いっぱい喜んでいました。園芸デザイン科の堀江先生から「1穂のお米から、お茶碗1杯のお米ができること」を教えてください園児たちは驚いた表情を見せていました。鎌を使っての作業ですが、高校生と一緒にすることで、怪我なく安全に終了しました。刈り取った稲は園児たちが自宅へ持ち帰りました。
(10月5日)

創業のノウハウを勉強



創業に関心のある方、創業を目指す方、創業後間もない方などを対象とした勉強会「当別創業塾」が当別町商工会主催により初めて行われました。中小企業支援ネットワークアドバイザーであり、6次産業化プランナーの榊リプロール代表取締役山口祐輔さんをメイン講師として講義を実施。会社設立の流れ、資金の調達方法などを具体的な事例を交えながらの説明に、受講者は真剣に耳を傾け、メモを取っていました。創業塾は次年度以降も継続して開催される予定です。
(10月8日)



広告

広告

広告

広告